

使用方法

1. 検体採取

①



綿棒を鼻孔入り口から **2cm 程度**、粘膜部分をぬぐうようにしてゆっくり挿入します

②



綿棒を 5 回程度ゆっくり回転、させます

③



5秒程度静置し、綿球を十分湿らせた後そっと引き抜きます

2.検体抽出



検体を採取した綿棒の綿球部分をすみやかにスクイズチューブ内の検体処理液に浸し、綿球部分を挟み押さえながら10回程度回転、その後綿球部分を絞り出しなから綿棒を取り出します。

3.滴下チップをはめる



調製した試料液の入ったスクイズチューブに滴下チップをはめ込み、**5分静置**します。

4.滴下



試料液を紫色の検体滴下部 **2滴** 滴下します。

(*反応カセットと滴下チップの先端を **10mm** 以上離して、
滴下ください)

5.押す



試料液滴下後、すみやかにオレンジ色の**凸部を押し**、反応を開始し、30分間水平に静置します。

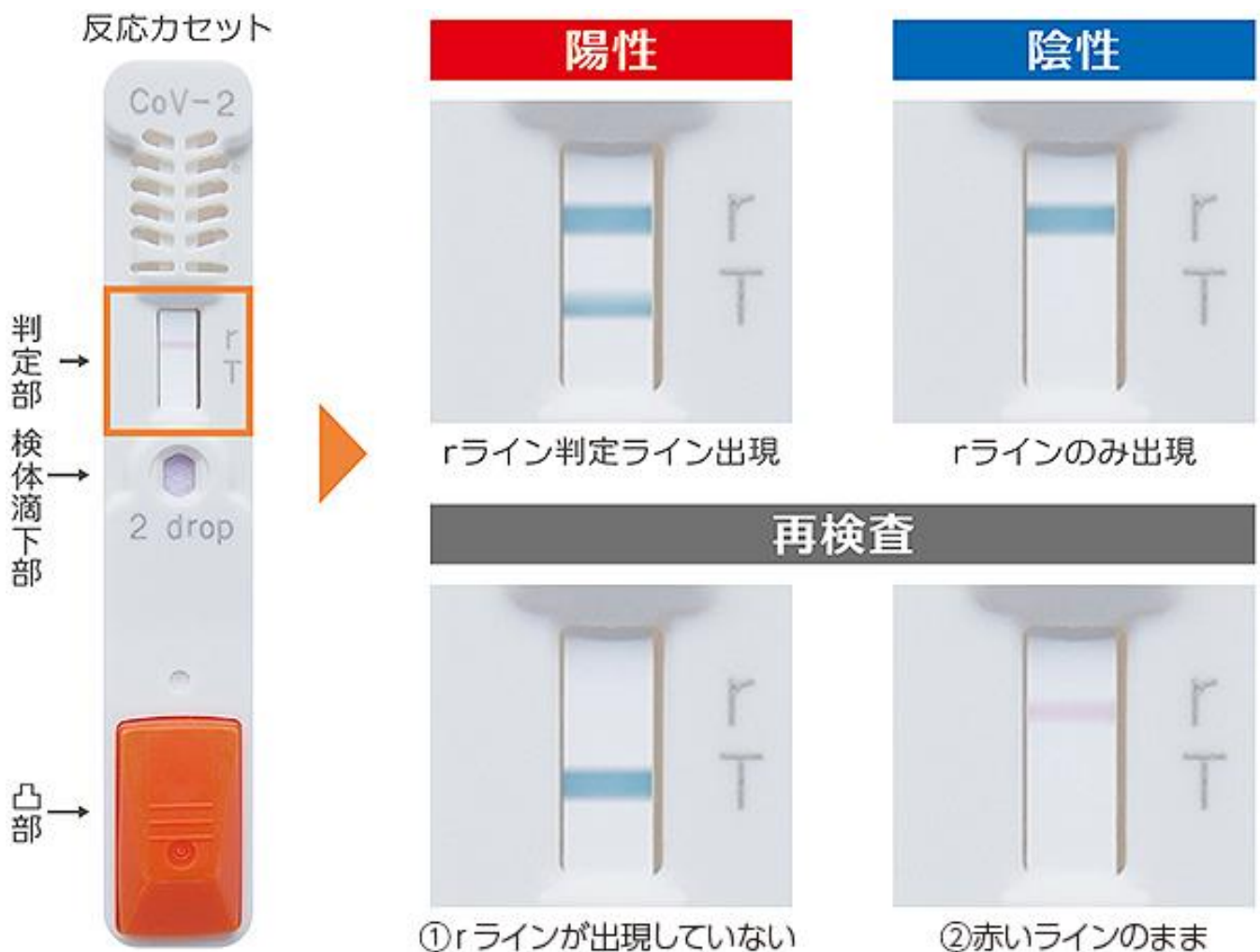
反応開始後は判定部に直接風が当たらないようにしてください。

6.反応時間

30分静置します

30分後に判定を行います。ただし、30分より前でもレファレンスラインと判定ラインが出現した場合、「陽性」と判定できます。

7.判定



レファレンスライン(r)と判定ライン(T)を確認して判定します。

- 陽性、陰性の判定

本品は 30 分で判定を実施してください。ただし、30 分より前でもレファレンスライン(r)と判定ライン(T)が出現した場合、「陽性」と判定できます。また、30 分判定時点では「陰性」でその後「陽性」となった場合は「陰性」と判定してください。

- 再検査の判定

再検査① 青色のレファレンスライン(r)が認められなかった。

再検査② 赤いラインが消失しなかった。

新しい反応カセットを用いて再検査を行ってください。

※注意事項

本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2 感染を否定するものではありません。